

2025 年 3 月 31 日

## 横浜ゴム、第 11 回「生物多様性パネルディスカッション」を開催

横浜ゴム（株）は 3 月 12 日、第 11 回「生物多様性パネルディスカッション」をオンラインで開催しました。今回は「ネイチャーポジティブ※に向けて私たちができること」というテーマのもと、パネリストに日経 ESG シニアエディターで東北大学教授の藤田香氏、司会進行役に（株）エコロジーパス取締役で江戸川大学講師の北澤哲弥氏をお招きしました。当日は、横浜ゴムグループ社員をはじめ、行政や企業、NPO や市民活動団体など 51 か所から多数の方々が参加しました。

※生物多様性の損失を食い止め、回復軌道に乗せるという考え方。

「生物多様性パネルディスカッション」は、生物多様性保全の大切さを考える機会として毎年開催しています。今回のイベントでは、藤田氏の「工場に取り組むネイチャーポジティブを考えよう」という基調講演に続き、横浜ゴムグループの生物多様性保全活動や新城工場、ヨコハマタイヤリトレッド（株）北海道事業所の具体的な取り組みを紹介しました。最後は質疑応答など活発なディスカッションが行われ、参加者全員で保全活動への理解を深めました。

2022 年 12 月の生物多様性条約第 15 回締約国会議（COP15）においてネイチャーポジティブの新たな国際目標が示され、日本でもその実現にむけた具体的な行動計画が策定されるなど、世界的にネイチャーポジティブに向けた活動が活発化しています。横浜ゴムはこうした活動に賛同し、2023 年 1 月より国際イニシアティブ「TNFD フォーラム」および「生物多様性のための 30by30 アライアンス」に参画しています。また、グローバルな植樹活動「YOKOHAMA 千年の杜」、生産拠点での水質や動植物のモニタリングと保全活動、天然ゴム農園でのアグロフォレストリーの推進、地域住民への啓発活動などを通じてバリューチェーンでの生物多様性保全に取り組んでいます。

横浜ゴムはサステナビリティ経営のスローガンとして「未来への思いやり」を掲げ、事業活動を通じた社会課題への取り組みにより、共有価値の創造を図っています。



基調講演をいただいた藤田香氏

このリリースに関するお問い合わせ先  
横浜ゴム（株）経営企画部 広報室 担当：高橋  
TEL：0463-63-0414 FAX：0463-63-0552